

■出題傾向

高校の英語学習活動は中学校の基礎学力の上に成り立ちます。また、高校の授業では ELF（外国人の先生）から様々なプレゼンテーション（発表）の課題が与えられます。そこでは確かな文章力と発信力が不可欠です。中学生として取り組む日々の学習では、特に音読を意識し、単語・熟語・文章を読んで書けるレベルまで高めましょう。

上記を意識した上で、入試では、どこまで中学の基礎学力を身に付けているかを確認する問題を出します。参考となるよう、昨年の入試に出題された問題をお知らせします。

- ・放送による問題
- ・語形変化、不規則動詞、関連語の類推問題
- ・適語補充や語順訂正による英文完成問題 / 適語補充による英文言い換え問題
- ・場面設定に応じた対話問題 / 場面設定に応じた自由英作文問題
- ・内容把握を含む長文総合問題

■解答分析

場面設定に応じた英作文の問題では、相手からの問いに対し、自分の考えを伝える道具として英語を使う力を見ます。身の回りのことを自分で考えた簡単な英文で書いてみるのが重要です。また、長文総合問題では、馴染みのない内容であっても、文章を忠実に読み進める力が求められます。日頃から文の構造と機能を意識して中学校の教科書を丁寧に学習しましょう。毎日、英文を音読しながら英語の語彙力を高める習慣が正しい解答に結びつきます。また、少し長めの英文を自らの英語でまとめる習慣をつけることが高得点に結びつきます。

■学習アドバイス

2021 年度からの新学習指導要領で新たに加わった文法項目を積極的に出題します。

放送による問題の対策としては、英検の音声教材やその他英語リスニング音声を活用して、英語の聞き取りに慣れておくことが大切です。

なお、入試では、以下の学習内容項目をほぼすべて出題します。

- ・名詞：単数、複数、不可算名詞、人称と格
- ・時制：現在、過去、未来、進行形、現在完了、現在完了進行形、時制の一致
- ・文の種類：平叙文、否定文、疑問文、付加疑問文、間接疑問文、命令文、感嘆文、受動態、比較の文、節を含む第 4 文型、第 5 文型
- ・その他：不定詞、分詞、動名詞、助動詞、形容詞、副詞、接続詞、前置詞、関係代名詞、仮定法、熟語、it の特別用法、会話表現